

# 会 報

2001年度

## 1. 春季大会記事

2001年度春季大会は、7月1日(日)に札幌留学生交流センター・会議室において開催され、以下の日程により研究発表、総会および大会記念講演がもたれた(参加者48名)。

### ●研究発表(\*印は口頭発表者)

(午前の部)

百瀬裕水(北海道大大学院文学研究科・院):長野市における公共交通の変化:1990~2000年

中村有吾(北海道大大学院地球環境科学研究科・学振特別研究員):北海道駒ヶ岳起源の広域テフラーとくに駒ヶ岳8テフラ(6500yrsBP)について

澤田結基(北海道大大学院地球環境科学研究科):ナキウサギはどうやって春を知るのか

(午後の部)

張貴民(札幌国際大学)・奥平志志(札幌国際大学):中国における観光業の発展と展望

佐々木巽(北海道教育大釧路校):生涯学習講座における数値地図の利用

### ●総会

2000年度事業報告・決算報告・監査報告について:

幹事長より2000年度事業報告、事務局より決算報告がなされ、また会計監査より監査報告があり、付帯意見で承認された。事業報告として2000年度春季大会、秋季大会(創立五十周年記念シンポジウム)が報告され、会誌74号について事務局員のシンポジウム等の多忙さ等で未発行の報告があり、早急に発行することの意見により、役割分担を進めて発行することとした。

創立五十周年記念事業、事業予算途中取支報告について:

幹事長より記念事業としてシンポジウムが開催され、五十周年記念会誌(75号)について、シンポジウム原稿、学会小史、総索引など原稿依頼は済んでいるが、まだ集まらない原稿が半分程度あり、原稿の集約を進め、年内を目途に準備を進めているとの報告、また、事務局より事業予算途中取支(支出が未締切)の報告とこの監査報告があり、承認された。

2001年度事業計画案、予算案について:

幹事長より2001年度の事業計画と今春季大会、秋季大会(新役員発足後に早急に具体化)、適時の例会について提

案、またこれに伴う予算案が事務局より説明・提案され、承認された。

2000年度決算報告:

◇通常予算分

(収入)

繰越金	81,307
会費収入	493,000
雑収入	309
計	574,616

(雑収入:寄付金)

※繰越金については、1999年度予算支出予定で会誌74号が未印刷・未支出のため、この印刷費500,000円が執行された場合の金額。会誌No.74印刷費として保存されている。

(支出)

記念事業予算へ繰り入れ(会誌No.75分)	370,000
事務費	8,020
通信費	38,440
謝礼	0
秋季大会補助(記念事業予算へ繰り入れ)	40,000
会議費	630
雑費	1,700
計	458,790

(雑費として、本会顧問・故奈良部先生葬儀の花輪代11,340および弔電代5,479を支出)

次年度繰越金 115,826

(会誌74号印刷費を500,000と予定した場合)

2001年度予算案:

◇通常予算分

(収入)

繰越金	115,826
会費収入	450,000
雑収入	124,500
計	690,326
(雑収入見込み:広告料 120,000 会誌売却 4,000 預金利息 500)	

(支出)

会誌No.76印刷費	500,000
事務費	10,000
通信費	55,000

謝礼	0
秋季大会補助	40,000
会議費	5,000
予備費	60,326
計	690,326

〃 : 高橋伸幸 (北海学園大工学部)  
 〃 : 曾根敏雄 (北海道大低温科学研究所)  
 〃 (集会): 菊地達夫 (浅井学園大短期大学部)  
 〃 : 下川和夫 (札幌大文化学部)  
 〃 : 佐久間直樹 (北海道南幌高等学校)

なお、遠藤幹事が2001年10月より長崎県立富江高校に転出した。

#### ◇記念事業予算途中収支報告

(収入)

通常会計より繰り入れ	370,000
通常会計より秋季大会補助繰り入れ	40,000
記念事業募金	308,000
計	718,000

(支出)

ポスター・パンフレット用紙代	6,247
ポスター・パンフレット郵送費	1,260
領収書綴等・文具	12,000
お茶・紙コップ等	3,863
電池・カセットテープ	2,039
会場関係者用弁当	21,000
謝礼 (講演・報告)	60,000
謝礼 (会場事務室)	3,600
会場運営アルバイト代	13,000
懇親会ご招待者分支出	7,000
記念号「総索引」データ入力代	20,000
計 (未締め切り)	151,333
現在高	566,667

役員改選:

任期満了に伴う2001-2002年度の役員改選があり、次の役員が選出された。なお、新会長より幹事が委嘱され、幹事会の互選の結果、次の任務分担とした。

会長: 氷見山 幸夫 (北海道教育大旭川校)

副会長: 大内 定 (北海道教育大札幌校)

(庶務・会計併任)

副会長: 佐々木 三千男 (北海道工業大 (非常勤))

会計監査: 酒井 多加志 (北海道教育大釧路校)

〃 : 三好 勲 (前副会長)

幹事長: 寺田 稔 (北海学園大法学部)

幹事: 遠藤 陳由 (札幌静修高校 (非常勤))

(庶務・会計)

幹事(企画): 橋本 雄一

(北海道大大学院文学研究科)

〃 : 鈴木 正章 (道都大短期大学部)

〃 : 張 貴民 (札幌国際大観光学部)

〃 (編集): 渡辺 悌二

(北海道大地環境科学研究所)

### 3. 新幹事会と秋季大会の検討

新幹事会が7月17日開催され、秋季大会を環境地図教育研究会と共催により、旭川で開催することを確認した。

また、幹事会の方向として、社会に開かれた地理学の意義から、一般の人も参加できるシンポジウムの検討、また地理教育が近年手薄であり、教育現場の教師に魅力のある学会などの点が議論された。

第2回幹事会(9月28日)では、春季大会を通常、研究発表とミニ・シンポジウムとし、大会記念講演は5年に一度ほどの節目などに催すことが議論、確認された。また、事務局は現在、実質一人体制で事務運営にも限界が見え、事務局を移転することで意見が一致し、受け入れ先を今後検討することにした。

### 4. 秋季大会記事

2001年度秋季大会は、10月27日(土)、環境地図教育研究会と共催により、旭川市において開催され、午前は10時15分より神楽岡の住宅地、見本林のコースでミニ巡検、午後は旭川市大雪クリスタルホール・大会議室で環境地図をテーマとする研究集会在開催され、発表と討論が行われた(参加者11名(本会会員の参加者))。また27・28日の両日は、環境地図教育研究会主催の「第11回私たち身のまわりの環境地図作品展」が開かれており、優秀作品には北海道地理学会会長賞を授与することを予め幹事会で決め、今回は筑波大学附属駒場中学校2年・子安智博君、上富良野町立上富良野小学校3年・荒木隼祐君の2名に授与した。

環境地図教育研究会日程:

(1) 巡検 10:15~12:30

コース: 集合場所-「三浦綾子記念館」-「見本林」-「旭川市郷土資料館」

(2) 休憩 12:30~

(3) 環境地図教育研究会

研究発表 13:30~16:00

第11回「私たちの身のまわりの環境地図作品展」の解説 16:30~17:30

(4) 解散 17:30

## 5. その他

・会員消息（会誌75号掲載以降，順不同，敬称略）

（入会）岡積義雄（札幌市立札幌清田高校・北海道大札幌校・院），長谷川健吾（北海道教育大札幌校・院）

（退会）渡辺茂蔵，山内卓，射水基

・学会よりのおもな会誌配布先（交換も含む）

日本地理学会，人文地理学会，東北地理学会，福島地理学会，北海道立文書館，北海道立図書館北方資料室，北海道大学図書館北方資料室，北海道教育大学本部図書館，札幌大学図書館，北海道開拓記念館資料室，北海道地下資源調査所，古今書院編集部，大明堂編集部，シカゴ大学極東文化研究所資料室，東京都立大学図書館，国立国会図書館，地理教育研究会（筑波大学附属駒場中等学校内）

・事務局移転などに関する最新情報は，本会ホームページ

（<http://chiri.let.hokudai.ac.jp/~you/gakkai/index.htm>）を参照していただきたい。